

平成24年度 事業報告書

(平成24年4月1日 から 平成25年3月31日)

<概要>

あいとうエコプラザ菜の花館が指定管理制度に移行し、その業務を受託して2年が経過しました。管理面では、床面の再塗装、炭化炉の耐熱レンガの見直し等を行い施設管理維持に努めた。また、くん炭の安定供給が進んだ等一定の指定管理活動は出来ているが、BDFの普及活動等実績が上がっていないことなど残念な結果となってしまった。来年度は指定管理の見直しの時期となる3年目を迎え、NPO法人愛のまちエコ倶楽部が指定業者として価値を問われることを意識した年になる。

体験事業から展開した新規就農支援活動等新しい可能性を感じる事業も育ってきた。ただし、広がり過ぎによる内容の問題、指定管理への影響等から、事業見直しを実施してきた。次年度からその中で一部事体験事業を絞り、内容に連続性を持たせた事業部制に組み換え、生産から販売・利用を総合的に担当する制度で実施することになった。

また、民泊事業は、愛のまち民泊推進協議会が発足しその窓口を担当することになった。さらに、菜の花プロジェクトの推進から生まれた体験事業が注目され、エコツアー事業も活発化してきた。その事業と農家民泊が連携できる事例が発生しており、今後は総合力としての事業展開を目指していきたい。

1. 指定管理事業

(1-1 .BDF関係)

(1-1-1 廃食油の回収)

料飲店等業務用施設の廃食油の処理状況を行政と共同で調査した。また、行政施設や給食等を独自調理している保育園等についても廃食油の利用並びにその後の処理方法等もアンケート調査出来た。その結果から回収方法の更なる検討が必要で、回収量の拡大が望まれる。

(1-1-2 BDFの利用)

BDFの利用について現状では、炭化プラント・施設内作業車・エコ粉せっけん等の用途が主となっている。

公共交通機関への利用は、品格法の影響等で途絶えていた市バスが1路線であるが復活された。また、市の公用車についてもBDF100使用の1台を含め数台の利用が始まった。B5については、「あいとうエコプラザ菜の花館」に簡易充填装置が設置され、市内で混合率5%のBDFが供給できる体制が整ったことが大きく、市公用車の利用が増えてきた。また、その使用に対する問題点等は発生することなくスムーズ運行となっており、この流れをさらに進めていき利用率アップを狙っていきたい。

農機具への利用は営農組合単位で供給出来ていたが、一時的に途絶えていた。昨年生活環境課と

連携して利用促進のためのアンケートを実施し現状把握が出来た。その結果から7営農組合でテスト使用とう形で供給が再開された。

その他企業向けはフォークリフト利用だけであったが、昨年蒸気ボイラーへの利用が検討され、実用化された。

(1-1-3 くん炭関係)

もみ殻の確保が問題になるが、地域の農協等によりご理解を頂けるようになり、ある程度の確保が出来てきた。

昨年度は年間通じて在庫を切らすことが無く、スムーズな供給ができたことで、来年度もその流れを継続する方向で進めていきたい。

くん炭製造装置に関しては、懸案となっていた老朽化した内部耐火煉瓦の修理が実施できたことにより、今後生産が安定していくと予想される。

2. 再生可能エネルギー事業

(2-1 菜の花プロジェクト事業)

菜の花プロジェクトの発祥の地と言われながら、菜の花栽培に対する気運は必ずしも高いとは言えない。連作障害の問題もあり、残念ながら一地域の作付面積が逆に減少してしまった。菜種の生産に対する問題点は、作付面積の減少と、あいとうエコプラザ菜の花館の乾燥調製装置の能力等が大きく、その双方の対応策が急がれる。

念願の菜種油のデザインが一新された。買い求め易い150CC・300CCの容器もラインアップが出来て評判も上々である。また、市のフードシステム協議会関連で、アグリフードエキスポへの参加したことや、「びわ湖・流域暮らしとなりわい創造会議」への参加により、こだわりの料飲店等新しいお客様との接点・交流が生まれてきた。

油の生産を行っている中部圏・近畿県の4県の団体と会合を持つことが出来、意見交換から今後共同で研究等を進めること等が期待できる。

菜種油の生産に付随して発生する油粕であるが、大変人気が高く注文から数か月近く納品を待っていただいている事態が続いていたが、菜種油の販売増に伴う生産アップにより待たすことなく対応できるようになった1年であった。

2-2 山の再生（木質バイオマス）事業

国際ボランティア学生協会等学生の参加だけでなく一般の参加希望者も増えてきて、整備は、段々と進んできて、見渡せる範囲の広がりを感じられるようになってきた。

セブンイレブン・JT・夏原グラントの補助金を頂き、里山整理に必要な林内作業車等の道具関係も充実し作業効率もアップしてきた。夏原グラントにより、里地里山連携事業もスタート出来て環境上のフィールドとしても良い状況になってきた。ただし、エネルギー面からすると、木質バイオマスエネルギーの有効活用までは進んではないのが課題である。

3 視察広報等事業

食とエネルギーの地産地消を進める総合モデル施設としての視察研修が主であったが、ここ数年残念ながら、視察来訪者が減少傾向となっている。

反面、県立大学やエコツーリズムしがの関連で、体験事業や新規就農・農家民泊事業等を含めたエコ（グリーン）ツーリズム関連の研修受入れ事業が増加傾向となってきた。特に韓国やノルウェーからの学生さんの視察等があり国際交流の場としても注目されつつある。

平和祈念館が昨年3月17日にオープンし、平和祈念館が募集しエコ倶楽部行う共同企画「平和の明かり・ロウソク体験」が実施できた。マーガレットステーションも含めて、地域連携を強化して、地域全体として魅力ある研修コースが出来るよう協議していきたい。

4. 農村支援事業

4-1 新規就農支援事業

愛東の特産品「梨・ブドウ」等は、生産開始から35年～40年経過し、生産者の高齢化に伴い、後継者難の園が増加してきている。果樹承継調整会議がスタートし、相談窓口をエコ倶楽部が担当してきた。ぶどう農家の献身的な指導のおかげもあり、引き継ぐ農園の決定に伴い、定住も決まり25年4月からの就農が決まった。

NPO法人まちづくりネット東近江が、市民の寄付金を募集しそのお金を利用して市民等の事業を応援する、市民寄附事業「にじまちサポーターズ」を開始した。新規就農者を空き農園に結びつけて、シニア・障害者がそれを応援する「新規就農者と農地のお見合いプロジェクト事業」を提案し採択された。地域に新しい仕事を創ることにもなり、愛東の特産品「梨・ぶどう」の維持復活にもなる事業で市民等に訴えて事業推進をしていきたい。

4-2 援農事業

里守隊作業に参加してくれる学生が、援農活動を積極的に活動してくれている。交流という意味だけでなく、仕事としても援農になりつつある。今後は農業等に興味を抱く若者たちと有給制度の援農としても募集を始めていきたい。

5. エコツーリズム事業

5-1 農家民泊事業

愛東地区の民泊推進母体を整備し、民泊の推進を目的に「愛のまち民泊推進協議会」が関係者のご理解・ご協力により設立出来た。NPO法人愛のまちエコ倶楽部が事務局を預かることになり、教育旅行は、東近江市全般の組織である「東近江市体験交流型旅行協議会」と連携し、受入れを進めてきた。

一般者を対象とした農家民宿事業も増加傾向になってきており、様々な縁で韓国やノルウェーなどの外国の学生さんの民泊も実施できた。保健所等の、法に基づく確認が取ることが重要になって

来ており、その対応を急ぎ進めていきたい。

5－2 体験ツーリズム事業

お米づくり・野菜関係・くだもの・お茶等様々な体験メニューを実施してきた。当倶楽部が直接運営するコースでは、管理等でスムーズな運営とは言えないコースもあった。野菜体験などは、実際に業としておられる地域の方々に、極力直接指導していただくコースに変更して実施してきた。ただし、参加者の反応は上々であるが、中々収益事業とは言い難い状況でなっている事態である。

1. 会議の開催

種 別	日時及び会場	議 案 等
平成24年度 総 会	平成24年5月19日(土) 19:00~21:00 於 あいとうエコプラザ菜の花館 出 席 29名 委任状提出 27名	1. 平成23年度事業報告について 2. 平成23年度収支決算報告について 3. 役員を選出について 4. 平成24年度事業計画(案)について 5. 平成24年度収支予算(案)について
第74回理事会	平成24年 4月13日(金) 19:30~21:00 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 事業報告と当面の事業計画について 2. 菜の花フェスタについて 3. 平成24年度総会について
第75回理事会	平成24年 5月 9日(水) 19:30~21:30 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 当面の事業報告について 2. 当面の事業計画について 3. 平成24年度総会について 他
第77回理事会	平成24年 6月11日(月) 19:30~21:30 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 当面の事業報告・事業計画について 2. 役員選出と担当について 3. 事務の応援体制について 他
第78回理事会	平成24年 8月20日(月) 19:30~21:30 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 当面の事業報告・事業計画について 2. 第1四半期決算について 3. 就業規則について 4. 愛のまち民泊推進協議会の設立の事務局の 受託について 他
第79回理事会	平成24年 9月20日(木) 19:30~20:40 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 事業報告・事業計画について 2. 菜の花館施設の問題点と対応について 3. 理事の事業担当について 他
第80回理事会	平成24年10月18日(木) 19:30~21:30 於 あいとエコプラザ菜の花館	2. 事業報告・事業計画について 3. 上半期の決算について 4. 収穫祭について 他
第81回理事会	平成24年11月14(水) 19:30~21:30 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 事業報告・事業計画について 2. 来年度の体験事業について 他
第82回理事会	平成24年12月12日(水) 19:30~21:00 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 事業報告・事業計画について 2. 来年度事業の方向性について 3. 就業規則について 4. 職員の採用について 他
第83回理事会	平成25年 1月13日(日) 19:00~21:20 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 事業報告・事業計画について 2. 事業方針と来年度の体験事業について 3. 就業規則について 他
第84回理事会	平成25年 2月 8日(金) 19:00~21:20 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 事業報告・事業計画について 2. 四半期決算について 3. 田舎もん体験2013について 他
第85回理事会	平成25年 3月28日(木) 19:00~21:20 於 あいとうエコプラザ菜の花館	1. 事業報告・事業計画について 2. 来年度の事業計画・予算について 3. 新規職員について 他

2. 会員状況（平成25年3月31日現在）

① 会 員 個人…92人 団体… 3団体

② 賛助会員 個人… 0人 団体… 1団体

3. 事業関係事項

平成24年度 特定非営利活動にかかる事業一覧表

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	参加者等	
菜の花エコプロジェクト	刈取り・選別・乾燥・保存	6月から3月	周辺たんぼ・菜の花館		
	搾油・委託搾油	通年	菜の花館		
	視察・体験学習(ろうそく・BDF・搾油)	通年	菜の花館	3147名	
	菜の花学会・楽会	11月10日	コミセン	134名	
	菜の花エコフェスタ	荒天中止	菜の花館周辺		
水とくらしの再生	エコせっけん作り・河川の水質観察	通年	菜の花館・周辺		
山の再生	里山の整備 月1回を継続実施	毎月	百済寺本町		
たんぼ・オーナー田 たんぼ・オーナー田 たんぼ・エコ倶楽部 たんぼ・アート 田畑の再生 お茶ぱーず チャレンジ畑 梅体験 ブルーベリー 味噌づくり 愛エコぶどう倶楽部 愛エコ梨倶楽部	手植え・除草・手刈り・はさがけ	4月から11月	菜の花館周辺	6組	
	機械植え・除草・機械刈り：無農薬	4月から12月	菜の花館周辺	1組	
	米ぬか農法(みどり豊)	4月から11月	菜の花館周辺	—	
	古代米でアート・減農薬(ヒノヒカリ)	4月から10月	菜の花館周辺	—	
	お茶園の復活体験・外町	5月から10月	愛東外町	45組	
	共同による畑作業	通年	菜の花館周辺	5組	
	梅の収穫イベント	7/7・8・15	大覚寺・菜の花館	7組	
	ブルーベリー収穫・ジャムづくり	7/16・8/5	愛東外町	9組	
	無農薬の大豆栽培と伝統味噌づくり	7月から2月	菜の花館周辺	14組	
	農家におけるぶどうづくり年間コース	通年	愛東外町	9組	
2梨園の共同運営事業 第3園支援事業	通年	妹・鯉江・百済寺	15組		
農村の再生	果樹新規就農相談	通年	菜の花館等	5組	
	果樹新規就農・定住	通年	菜の花館	1家族	
広報事業	ホームページ	更新管理・随時	通年	菜の花館	
	NPO通信	年1回発行	1月	菜の花館	
	田舎もん体験チラシ	年間計画 広報	3月	菜の花館	
	FM東近江	らららガーデン毎週金曜日	毎週	東近江市	のべ75名
	FM滋賀		1回	大津市	1名
	KBS京都		1回	彦根市	1名